

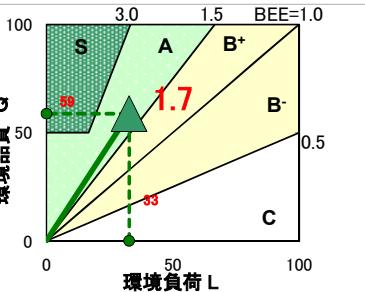
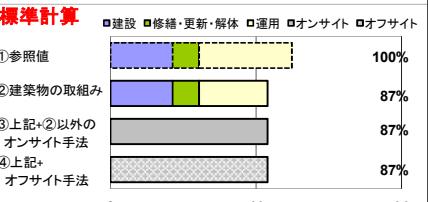
CASBEE® 名古屋

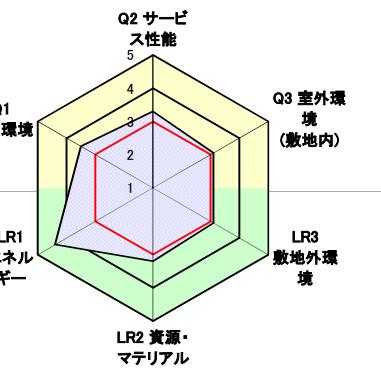
■使用評価マニュアル: CASBEE 評価基準2016年版、名古屋市建築環境総合性能評価マニュアル2016

評価結果

■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)名古屋市千種区山門町2丁目計画 新築工事	階数	地上6F 地下1F
建設地	愛知県名古屋市千種区山門町二丁目3番、堀割町二丁目9番、25番2	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2023年5月18日
敷地面積	3,471 m ²	作成者	
建築面積	1,723 m ²	確認日	2023年5月19日
延床面積	8,251 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 1.7		30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★	
		標準計算	 ①参照値 100% ②建築物の取組み 87% ③上記+②以外の オンサイト手法 87% ④上記+ オフサイト手法 87% (kg-CO ₂ /年・m ²)
		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもので	

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質	
Q1 室内環境	Q1のスコア= 3.5
音環境	3.0
温熱環境	3.2
光・視環境	3.4
空気質環境	4.3
Q2 サービス性能	Q2のスコア= 3.3
機能性	3.4
耐用性	3.0
対応性	3.4
Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア= 3.1
生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0
LR のスコア= 3.3	
LR1 エネルギー	LR1のスコア= 4.4
建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備シス	5.0
効率的	3.5
LR2 資源・マテリアル	LR2のスコア= 3.2
水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0
LR3 敷地外環境	LR3のスコア=3.1
地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
●本件は、ZEH基準住宅であり、外皮性能、一次エネルギー消費量と省エネルギー環境に配慮した。	●特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
●シックハウス対策としてF★★★★を全面的に採用。節水型トイレ、エナファーム、節湯器具を採用。	●天井高2.5m以上とし広さ感に配慮した。	●できる限り緑化採用し、景観にも配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
●省エネルギー設備に配慮した。	●ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮した。	●屋上広告を一切なくし、光害対策に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケーブルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケーブルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)名古屋市千種区山門町2丁目計画 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策			4.1
LR1 エネルギー	4.4	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	3.5	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生			2.3
Q3.1 生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2 まちなみ・景観への配慮	3.0	0.045	
3. 循環型社会			3.3
LR2.1 水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.1



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.3



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。